個別施設計画

策定年月	H31.1

施設名	岡山国際交流センター	所在地	岡山市北区奉還町2-2-1
敷地面積	1,571.07 ㎡	棟数	1 棟 （計画記載対象 1 棟） ※対象は200㎡以上の建物（車庫、倉庫等は500㎡以上） ※公舎・寮は全て対象
延床面積	6,037.36 ㎡		
設置目的	県民と外国人との相互理解を深め、交流を推進し、地域の国際化を図ること。		

【想定される自然災害】

予想震度 6弱　　津波 －　　浸水 0.5m以上1.0m未満

建築規制	市街化区域、商業地域、準防火地域 建ぺい率80%、容積率400%、後楽園背景保全地区（高さ40m）				
ｴﾈﾙｷﾞｰ使用量	電気	ガス	水道	燃料 （ － ）	
（ 2017 年度）	602,414 kwh	62,631 ㎥	4,937 ㎥	－ ℓ	
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし　敷地内貸付地 あり				

1．施設内建物の概況

名　称		本館
築年（西暦）		1995 年
構　造		鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 造　地上8階 地下2階
建築面積		931.62 ㎡
延床面積		6,037.36 ㎡
主要な用途（室名等）		執務室 7 室 429 ㎡ 会議室 16 室 1,388 ㎡ 倉庫 17 室 223 ㎡
主要な設備（屋外を含む）		電力設備（受変電設備） 電力設備（非常用発電設備） 消防設備（自動火災報知設備） 空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機
利用状況		高
耐震性 ※1		有
躯体(ｺﾝｸﾘｰﾄ)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	―
	中性化 ※3	―
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況（劣化が進んでいるもの）		該当なし

※1 耐震性有：耐震診断の結果Is値≧0.6（震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い）又はS56.6以降に建築の建物 （S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外）

※2 圧縮強度：13.5N/mm2未満は不適　※3 中性化：築後65年時点でｺﾝｸﾘｰﾄの中性化が30mm以上の見込みは不適　※4 傾斜が有る場合は不適　※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1)施設全体の方針

劣化が進んでいる設備等の修繕・改修を行い、施設を継続する。

(2)建物ごとの方針

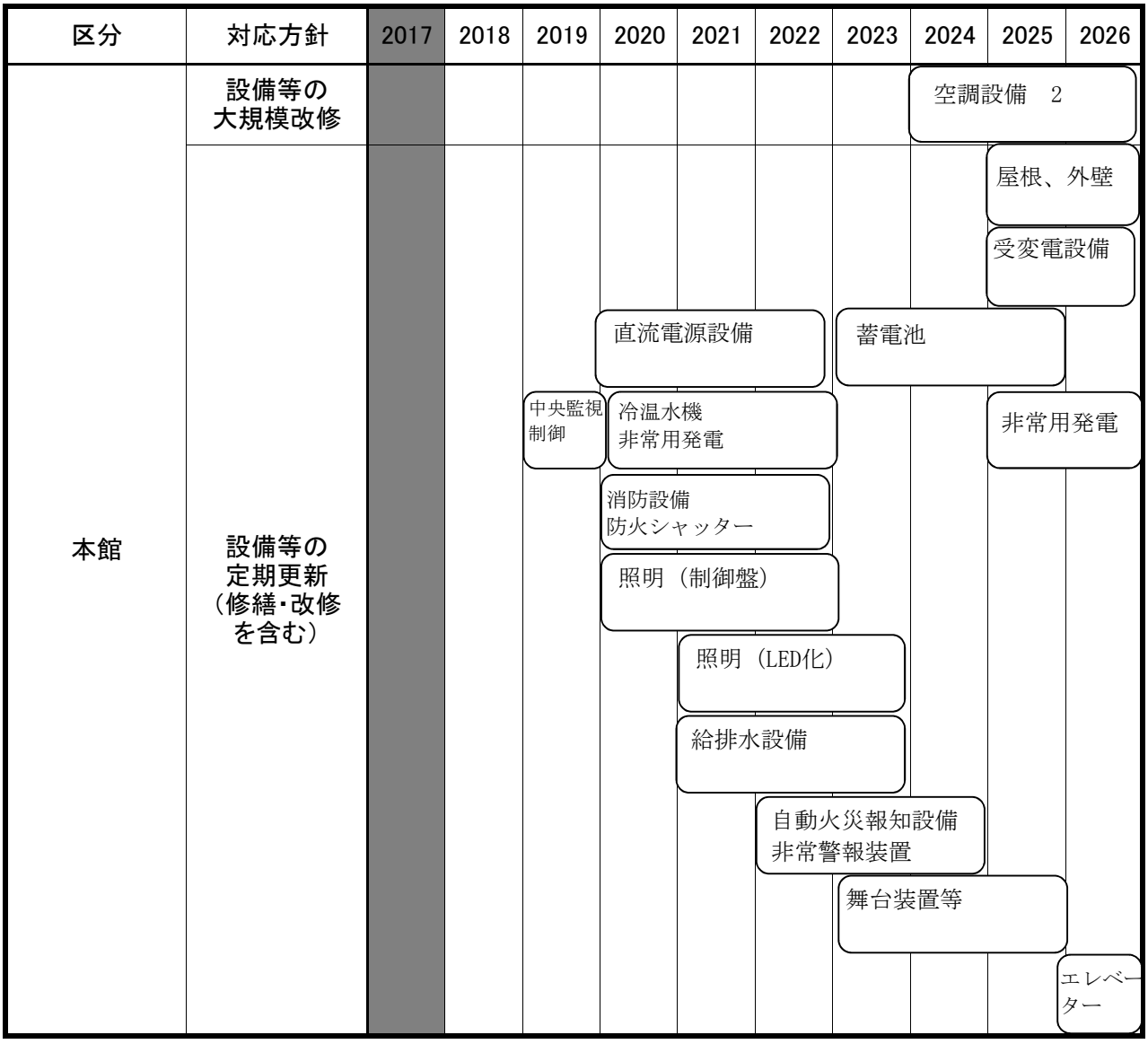
区分	対応方針
本館	・設備等の修繕・改修を行い、長寿命化を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概　要)

劣化が進んでいる設備等の修繕・改修を順次行う。

(単位:億円)



4. 概算費用

総額5億円(設備更新等)